



### 学ぼ～よ（厚陽小中学校）

厚陽小中学校では、児童生徒が地域の方とともに学ぶ『学ぼ～よ』が3年目を迎えました。図書館を使った国語の授業『ライぶらり』では、30年後に図書館に置いておいてほしい本を選んで、それを選んだ理由をグループ内で説明した後、それらの本を手にとって意見交換をしました。生徒は、感動する、挿し絵がきれい、自分の子どもに読み聞かせたいなど、選んだ理由を発表していました。また、地域の方が環境や歴史などの視点から選んだ本の説明を興味深そうに聞いていました。最後は、全員がテラスで交流を深めました。



### 地域連携教育担当者研修会 兼 地域力・学校力・家庭力向上プロジェクト研修会



地域連携教育を推進することを目的として、地域学校協働活動推進員や地域交流センター長、CSサポーター、学校関係者、家庭教育支援チーム員などを対象に、不二輸送機ホールで研修会が開催されました。はじめに、県教育委員会の所管説明の中で、重点取組事項として、①子どもの主体的な学びの充実をめざした連携・協働体制の構築、②子育てや家庭教育についての不安や悩みを抱える家庭への支援の拡充、③子どもとともに、大人も学び合い育ち合う地域学校協働活動

の推進について説明がありました。続いて、市教育委員会からも地域連携教育を推進するために、地域と小・中学校を通じた9年間の「学校・地域連携カリキュラム」の効果的な運用と見直し・改善、地域資源を生かしたふるさとを愛する心の育成、「地域学校協働活動推進員」の資質向上及び連携強化に向けた研修機会の提供を重点取組事項とすることが伝えられました。

小学校区ごとのグループ協議では、今年度の地域学校協働活動の予定やよりよい活動・連携に向けて取り組んでいることなどについて情報交換が行われました。地域のよさを知るために生徒は最低年2回地域行事に参加するようにし、褒められ認められる体験を積み重ねている、大人が用意した行事に生徒を参加させるだけでなく、生徒の意見を聞く場を設けることや地域に声を届けることが大切であるなど、貴重な発表も聞かれた研修会になりました。

